



日本共産党平塚市議会議員団

電話 0463-23-1111 (内線 2375)

平塚市浅間町9-1 平塚市議会控室

No. 1406 2017年5月21日発行

日本共産党平塚市議会議員団

団長 高山和義

電話・fax 31-4638

k.takayama@mb.scn-net.ne.jp

渡辺敏光

電話・fax 31-6431

w-toshi@agate.plala.or.jp

松本敏子

電話・fax 59-4607

mail@matsumoto-toshiko.jp

日本共産党議員団の法律相談

今回は6月15日(木)です。

午後4時~6時(要予約)

平塚市の イノシシ被害 農作物から家の庭木まで

近年、イノシシやシカなどによる被害がテレビ・新聞などでも問題になっています。平塚市では平成18年ころから高麗山周辺地域でイノシシによる農作物被害が深刻となり、市と大磯町・二宮町、JA湘南で構成される湘南有害鳥獣対策協議会でイノシシ捕獲用の檻を2基、高根・万田に設置しました。

その後、さらに万田、西小磯、下吉沢、上吉沢にと計8基設置し、平成24年度にはさらに土屋・高根・万田に5基と、設置個所を拡大していきました。

平成26年度末、特別措置法により「平塚市有害鳥獣対策協議会」を立ち上げ、平成27年度から3年間の「平塚市鳥獣防止計画」を作成し、平成29年度までに被害面積・被害額ともに30%以上削減したいとしています。



しかし、イノシシやシカによる被害は減ることはなく、現在農水産課では「くくり罠」を仕掛けたり、檻の設置場所を変えたり、電気柵設置費用に対し補助をするなどの対策を講じているといいます。

最近では、農地だけでなく柔らかい土手を掘り起こしたり、民家の庭の木の根を掘るなどの被害も出ています。

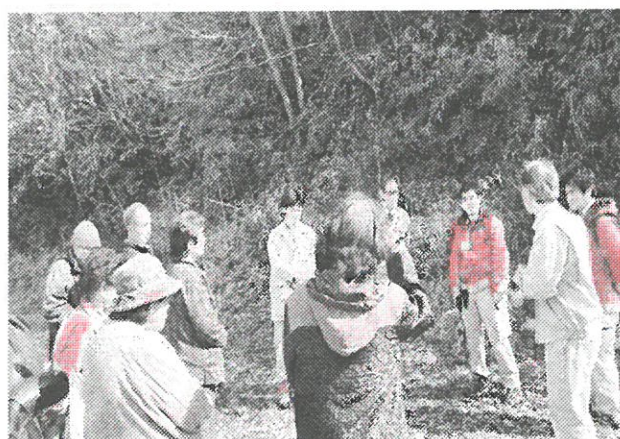
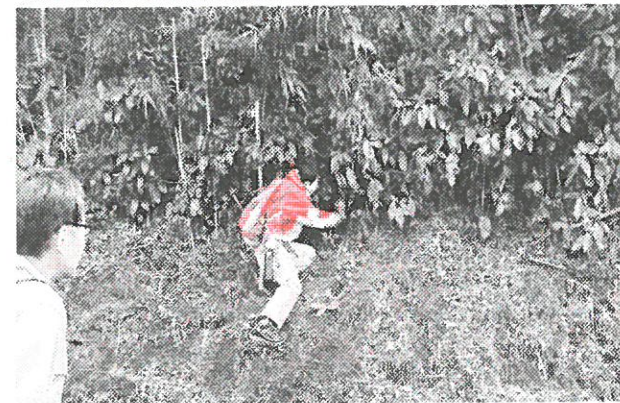
こうした生活圏域での被害は環境部の管轄ですが、そこが道路であれば道路管理課、高麗山周辺となるとみどり公園・水辺課も関わるといように、ことは「イノシシ被害」一つであっても産業振興部、環境部、土木部、都市整備部などが関係してきます。

イノシシ対策に 県と市の各課が対応

最近、湘南平ふもとの万田地域ではイノシシが頻繁に出没しています。家の周りを掘り返し、庭木が何本も倒され、夜7時~8時に帰宅すると家のそばで遭遇することもあるといいます。

住民の安全が第一であり、「市は早急に対策を」とお願いすると、市は県の鳥獣被害対策支援センターの鳥獣対策専門員と環境調整課職員をお呼びして、現地には住民の方々と共に道路管理課、環境政策課、みどり公園・水辺課の職員が参加して、イノシシの習性や対策、技術的なアドバイス等を受けました。

専門員の「イノシシ目線で見ると」イノシシは臆病な動物で人に見られないように行動するため、「イノシシの姿が隠れるような草木を刈り取り、隙間からイノシシが見えるようにする」などのアドバイスをいただきました。住民の方々がさっそく草木を刈り取ると、道路管理課はその上に県の指導を受け、イノシシ対策用の網を張りました。

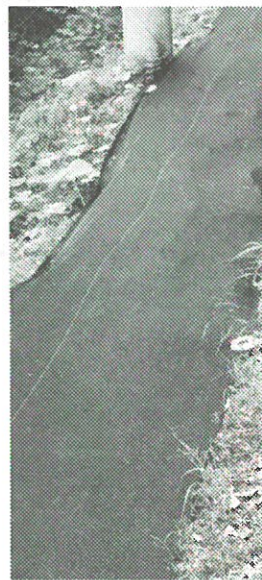


その2週間後、道路管理課と県の専門員は再び現地を訪れ、住民の方々にその後イノシシの出没がないことを確認。他所での実験でも、イノシシはこの網を張った場所には踏み込まないようです。

今後も地域ぐるみで林の中の下草を刈り、イノシシの隠れ家を作らないことが大切といえます。

しかし今度は、現地の上方でイノシシが出たという通報が市に届いており、狩猟禁止区域のこの地域では有害鳥獣のイノシシといえど捕獲以外には、追い払うしか方法がないのが実態です。

高麗山の裏側・大磯町では、平成28年度だけで214頭のイノシシを捕獲したといえます。大磯町では、鳥獣から作物を守るため、鳥獣対策の基本やイノシシが来る原因を知る環境点検などを学んでもらおうと、年に数回の鳥獣害対策講習会を開催しています。



道路脇の草を刈り、網を張った所

月ごとのイノシシ、シカの捕獲数

	H26年度	H27年度	H28年度	3年間の合計
4月	1	1	0	2
5月	0	0	1	1
6月	1	3	2	6
7月	7	5	2	14
8月	13	0	6	19
9月	8	2	8	18
10月	0	1	7	8
11月	2	3	5	10
12月	0	3	6	9
1月	3	4	1	8
2月	0	4	3	7
3月	0	3	2	5
	35	29	43	107



平塚市中央図書館前での出発集会で、コープのダンスサークル30人によるダンシング・パフォーマンスが始まり、集まった人たちを楽しませてくれました。



国民平和大行進 平塚～二宮

広島、長崎で8月に開かれる「原水爆禁止2017年世界大会」に向け、核兵器廃絶を訴えながら歩く「国民平和大行進」（原水協などで行く実行委員会主催）が17日、平塚を出発しました。1958年に始まり今年で60回目。市議団の3人も参加してきました。



今年はアメリカの女子大学生も、7日に川崎を出発し19日まで県内を通して行進します。



今年、所用のため落合市長に代わり井上副市長がご挨拶をされ、参加者を激励しました。出発時には横断幕を握り、「通し行進者」と並んでしばし行進。広島で被爆された中村雄子さんは今年85歳。二度と戦争をしてはならないと、語り継ぐことの大切さを訴えられました。行進は二宮へと進んで行きました。

平塚市におけるイノシシの捕獲数(赤字はシカの捕獲数)

檻の場所	年度											11年間の計
	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	
高根	2	0	2	13	19	21	22	4	9	10	15	117
万田	3	0	3	10	9	6	1	1	6	4	14	57
西小磯	0	0	6	5	13	6	5		1	—	—	36
下吉沢	0	0	0	0	0	0	1		5	3	3	12
										1		1
上吉沢	0	0	0	0	1	0	8		12	9	7	37
											1	1
土屋										1		1
								1	2	1	2	6
岡崎											1	1
	5	0	11	28	42	33	37	6	35	29	43	269

H26年度から「くくり罠」による捕獲を開始し、その捕獲数も含む。

※上の表の数は捕獲数であり、生息数や作物被害の実態とはリンクしないと考えられます。H25年度は、山に餌となるものがあつたのか、県内のどの自治体でも捕獲数は少なかったといえます。